



システムを利用している新井 淳一さん(左)と母の敏子さん

徘徊する高齢者の居場所を家族に知らせます

「行方不明を防ぐ」「はいかい高齢者救援システム」

問 介護保険課(☎321・1250)か
各地域の高齢者あんしんセンター



市ホームページ

高齢者が行方不明になったときに、いち早く発見・保護するための仕組みが「はいかい高齢者救援システム」です。利用者に無料でGPS(衛

星測位システム)機器を貸し出し、機器を身に付けている高齢者が行方不明になり、通報が入ると、市が委託した「見守りセンター」が高齢者の現

在地を確認。緊急連絡先として登録された家族や介護者に、居場所の位置情報を電話やメールでお知らせします。状況に応じて、同センターの職員が現地に向かい保護。24時間365日体制で対応します。

探索・保護は無料です

対象は、市内に在住で、認知症による徘徊の心配のある65歳以上の高齢者がいる家族や介護者です。介護認定は必要ありません。申し込みは、介護保険課が各地域の高齢者あんしんセンターへ。

小さなGPS機器は安心の「おかけ」

岩押町の新井淳一さんと母の敏子さんは、同システムを



機器は重さ30gで、大きさは縦44mm×横37mm×厚さ12mm。かばんに入れたり、つえやベルト、専用の靴に付けたりして持ち運べます。一回の充電で、数日～1週間連続して使えます

3年前から利用しています。敏子さんは、以前から出かけたまま家に帰れなくなることがあったそうです。時には、近くに住む親戚に協力してもらってあちこち探し回ったことも。ケアマネジャーからこのシステムのことを聞き、利用を始めました。これまでに、GPSで居場所を確認してもらい、発見・保護した

ことが何度もあったそうです。淳一さんは「いなくなってもすぐに居場所を教えてください。早く夜中にも対応してくれるので、本当に心強いですよ」と話します。小さくて軽いGPS機器は、高齢者の安全を守り、家族の負担を和らげる「お守り」です。



高齢者と家族を支える高崎の福祉の取り組みを紹介

全国に先駆けた独自の高齢者福祉

市は、お年寄りとその家族が安心して暮らせるようにするため、全国に先駆けた新しい高齢者福祉に取り組んでいます。GPSを使って行方不明の人を見つけるはいかい高齢者救援システム、24時間体制で異変に対応する高齢者のあんしん見守りシステム、介護する人の困り事をすぐに手助けする介護SOSサービス。今回号では、こうした市の取り組みについてお知らせします。



介護する家族の負担を減らす「介護SOSサービス」

電話一本で 介護をお手伝いします

☎ 長寿社会課 (☎321-1319)



介護の手助けが必要になったとき、電話1本で24時間365日すぐに対応するのが「介護SOSサービス」です。介護する家族の負担を減らし、介護による離職をなくすための本市独自の取り組み。介護福祉士などが駆け付ける訪問サービスと、被介護者の宿泊サービスがあります。

対象は次の①②に当てはまる場合です。

- ①被介護者が市内に在住し、住民登録のある65歳以上
 - ②家族など介護者が介護の手助けが必要な状況にある
- 介護認定や登録などは必要ありません。介護者が市外に住んでいる場合も利用できます。

申し込みは、下記のご利用専用ダイヤルへ。24時間365日、介護の専門職員が対応します。利用者の健康状態や介護の程度などを聞き取り、訪問・宿泊サービスを手配します。

サービスは「訪問」と「宿泊」

いずれも、費用の支払い方法は、申し込みのときに確認してください。

訪問サービス

介護福祉士などが原則2人で訪問。利用者を確認し、必要なサービスを提供します。

宿泊サービス

短期の宿泊で食事や入浴を提供します。社会福祉法人新生会（中室田町）とニューサンピア（島野町）の2か所が利用できます。着替えや洗面用具など宿泊に必要な物は、利用者が用意してください。



詳しくはこちら▶

母が骨折し、急に介護の手助けが必要に

吉井町吉井の朝生博^{あそう}さんは、母のさち子さんが腕を骨折し、急に介護の手助けが必要になったそう。仕事で家を空けてしまうため、訪問サービスを利用しました。「事前登録や介護認定もなく利用できて助かりました」と博さん。「入浴の介助などをしてもらい、安心して家で過ごせました」とさち子さんも笑顔です。介護SOSサービスは、家族を介護する人の頼れる味方です。



朝生 博さん(左)と母のさち子さん

GOGO! にじゅうよじかん

介護SOSサービス ご利用専用ダイヤル

☎ 360-5524

* 介護の専門職員が必要な情報を聞き取り、訪問、宿泊サービスを手配します

訪問サービス

- 内容：食事の準備・調理、見守り、入浴や排せつの介助、通院など外出の同行、掃除や洗濯、買い物、衣類やシーツの交換や洗濯など
- 費用：1時間 250円
- 利用回数：1か月5回まで

宿泊サービス

- 内容：短期の宿泊、食事、入浴
- 費用：1泊2食付き 2,000円
1泊2食・送迎付き 3,000円
- 利用回数：1か月3回まで
(1回の利用は2泊まで)
- 入館時間：午前8時から午後8時まで

(7) 高崎市役所 ☎027-321-1111



ボタン一つで緊急通報できる



いつも通る居間などにセンサーを設置



緊急通報装置はすぐに手の届く場所に

自宅に設置した「安否確認センサー」と「緊急通報装置」首から下げられる「ペンダント型緊急通報ボタン」で、24時間365日体制で高齢者を見守ります。一定時間センサーに反応がなかったり、非常ボタンが押されたりするなどの異常があったときに、市が委託した「見守りセンター」がいつでも対応します。同セ

機器の設置は無料です

対象は、市内に在住の65歳以上の一人だけの世帯です。同居の家族がいる場合でも、65歳以上の一人だけになる時間があるなど、条件により対象になります。機器の設置・貸し出しの費用は無料です。申し込みは、介護保険課が各地域の高齢者あんしんセンターへ。

詳しくはこちら▶



高齢者を見守る3つの機器



安否確認センサー

居間やトイレなど必ず通る場所に設置。一定時間人の動きを感知しない場合は、見守りセンターに異常を知らせます



据え置き型緊急通報装置

台所や居間などに置きます。「非常ボタン」を押すと、見守りセンターにつながります



ペンダント型緊急通報ボタン

首から下げて身に着けられます。ボタンを押すと見守りセンターに異常を知らせます

☎ 介護保険課 (☎321-1250) か
各地域の高齢者あんしんセンター

3つの機器で高齢者を見守ります

24時間365日、安心をサポートする「高齢者のあんしん見守りシステム」

interview 利用者に聞きました



夜中に体調が急変
このシステムで救われました

小泉 初江さん
(下佐野町)

民生委員さんに勧められて、5年前から利用しています。今年の2月、夜中に急に胸が苦しくなり、無我夢中で非常ボタンを押しました。見守りセンターの人にすぐに救急車を呼んでもらい、搬送されました。市外の息子にも連絡してくれたので、息子も駆けつけてくれて、本当に助かりました。もし電話だったら、あの苦しさの中、自分で救急車を呼ぶことはできなかったかもしれません。ボタン一つで見守りセンターにつながるありがたさを実感しましたよ。息子とも、このシステムのおかげで安心だねと話しています。